

平成27年度

鹿嶋市教育行政運営方針

鹿嶋市教育委員会

平成27年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

(1) 教育に関する「大綱」の策定

平成27年4月1日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されました。これは、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図ることを目的としたものです。この法律により、教育の目標や施策の根本的な方針を「大綱」として策定することになります。「大綱」は市長と教育委員の協議・調整の場である総合教育会議において協議の上策定することから、鹿嶋市としての教育政策に関する方向性が明確化されます。

(2) 教育振興基本計画の策定

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、鹿嶋市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画「教育振興基本計画」を策定します。教育に関する「大綱」の目指す方向性を参酌した実施計画として計画期間を平成36年度までの10年間とします。

(3) 教育環境の整備

市内の学校校舎等は、建築から20年以上が経過し、経年劣化が進んでいます。安全、安心な教育環境の整備と施設の長寿命化を図るために、改修の年次計画を策定し、計画的に大規模改造工事等を進めます。

特に、平成27年度は大野中学校武道場の改築、鹿島小学校の大規模改造工事、平井中学校体育館天井改修工事を実施します。

老朽化した学校プールについては、民間プールとの調整により実施していますが、今後、温水プールへ集約化し、一般市民も利用できるように関係各課と協議を進めていきます。平成27年度は、教育委員会において大野区域の学校プール集約化に向けた基本計画を策定します。

学校の暑さ対策については、この夏の学校現場の状況を確認し、気候の変動、気象状況を勘案しながら、エアコン設置についての検討を行います。

社会教育施設については、高松公民館の老朽化に対応し、建て替え工事を実施します。また、大野区域の公民館整備については、中野西小学校区の公民館整備にあたり、今年度は建設場所や施設内容などについて住民の方々と意見交換を行います。

(4) 学区再編成の検討

学区の見直しについては、基本的には義務教育を適正に実施するための学校規模の適正配置や、児童生徒の通学の利便性、コミュニティ活動等を考慮して定め

る必要があります。外部の有識者等による学区再編検討委員会を開催し、調査・研究を進め学区再編成の素案づくりに取り組みます。

(5) 幼児教育の充実

平成 27 年 4 月に公立では初めての平井認定こども園が開園しました。認定こども園では、幼稚園の「幼児教育」、保育園の「乳幼児保育」という概念にとらわれず、小学校就学前の幼児を対象とした質の高い幼児教育と子育てを総合的に支援する環境を提供します。

また、幼児教育を充実させるためには老朽化した施設の環境整備が欠かせません。公立幼稚園だけでなく、公立保育園も含めた公立幼保施設全体の整備について検討し、整備方針を策定します。

(6) 学校給食施設の改善と滞納対策の強化

大野中学校の単独調理場と調理機器の老朽化に伴い、平成 26 年度に改修調査を実施しました。この調査結果を基に今後の学校給食施設の方針を決定していきます。

給食費等の徴収および滞納問題に対する対策は、平成 26 年度に学校給食費の口座振替実施や児童手当等からの納入を実施し改善を図りましたが、今年度は、更に具体的な問題点を整理し、滞納対策を検討します。

(7) ICT教育・環境の充実

教職員と児童生徒の授業中の双方向性を高めるとともに、児童生徒の主体的、意欲・関心や知識・理解を高めるために、学校 ICT 教育環境の整備を進めています。

これまでに、全小中学校に教育 PC（小学校はタブレット）と校務用 PC（教員 1 台）を配置してきました。今年度は、鹿嶋市教育会情報教育部会と連携の上 ICT の活用実態を把握し、中学校へのタブレット配置に向けた調査研究を行います。また、教職員の ICT 活用能力の向上に取り組むとともに、電子黒板・電子教科書を活用しての校務の効率化や校務情報化ネットワークを活用しての学校経営改善等の方針を決定します。

(8) 学力向上と生きる力育成に向けた授業改善

昨年 11 月の中教審諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」を踏まえ、本市児童生徒には社会構造や雇用環境の大きな変化を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力を身に付けさせたいと考えます。所謂「生き抜く力」を身に付けるための根本は、やはり学力の向上にこそその本質があるといえます。

そこで、学力向上に向けて、主体的・協働的に学ぶ学習（アクティブラーニン

グ（※）の充実を図る授業改善プロジェクトを一層推進します。具体的には、昨年度の重点校2校からの拡充を図り、小学校5校・中学校5校を重点校とし実施します。

重点校を核に、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視し、課題の発見や解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習を進め、教職員にはそのための指導方法等を充実させるための研修、実践機会を提供していきます。

※ 教員による一方的な講義形式の教育とは違って、生徒たちの能動的な参加を採り入れた指導・学習方法の総称。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習などが含まれる。

（9）小中一貫教育の導入の検討

小中一貫教育の導入を検討するために、高松小学校及び高松中学校を小中一貫教育モデル校に指定し、中1ギャップへの対応を図ることはもとより、一貫型カリキュラムの作成、教職員の小中一貫型指導を行います。

指定校である高松小学校及び高松中学校においては、複数年にわたり小中連携校としての実践に取り組んできました。具体的には、小中連携カリキュラム作成をとおし、「児童生徒が様々な問題に積極的に対応し解決する力の育成」の研究を進めてきました。

今後、小中一貫教育モデル校における取り組みの結果を検証し、小中一貫教育の導入の検討を行っていきます。

（10）英語教育関連の充実

鹿嶋市では、全小学校が英語教育特区の特例校の指定を受け、中学校と連携した英語活動カリキュラムを進めています。さらに、小学校英語の実態調査を導入し、その成果を確かめながら、小学校英語活動の教科化に向けた今後の在り方について見直しを図ります。

（11）学校支援事業の充実

平成26年度より専門的知識と資格をもった就学相談員を配置し、きめ細かな支援を行うこととした特別支援教育については、特別支援学級在籍の児童生徒に対してのみならず、通常の学級にも約7%在籍するとされる知的発達遅れを伴わない特別な教育的支援を要する子どもたち（※1）にもインクルーシブ教育（※2）の概念を生かし、安定した生活や学習が通常学級の中で営めるようにしていきます。

※1 平成24年度文部科学省調査で、全国の小中学校の通常学級には、知的発達遅れがないものの特別な教育的支援を要する児童生徒は6.5%在籍するとされている。

※2 同じ場で共に学ぶことを追求すると共に、個別の教育的ニーズに対し最も確にこたえる指導を提供できる、多様で柔軟な整備をしていくこと。

(12) 教育相談活動の充実

就学前相談や幼児の発達傾向に関わる問題、いじめ・虐待などによりその比率が高まるといわれている不登校や問題行動といった多岐にわたる教育相談を行います。

毎週火・水・木曜日を相談日とし、園や学校への訪問相談や市庁舎内で行う来室相談を就学相談員が実施していきます。

また、鹿嶋市適応指導教室「ゆうゆう広場」でも月曜から金曜日の9時から15時30分まで、特に不登校、登校しづりに関しての相談を実施していきます。

(13) 家庭・学校・地域の連携

現在学校では、いじめ問題や通学路の安全対策など、学校だけでは解決できない問題があり、地域との連携が強く求められています。

地域全体で学校を支え、健全な子ども達の成長を支援する地域づくりや家庭・学校・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進めるため、社会教育と学校教育の一層の連携強化を図ります。

(14) 放課後子ども総合プランの推進と充実

放課後における児童の安全・安心な居場所を確保するため「放課後子ども教室」と、これまで市民福祉部で行っていた「放課後児童クラブ」を一体的に展開します。

現在、学校余裕教室や公民館等を活用して事業を行っていますが、待機児童や子ども教室の未実施校が課題となっており、解消に向けて学校と連携を図っていきます。

また、鹿嶋市独自の「放課後こども総合プラン」の在り方について、学校と協議しながら、適切な運営方法を検討していきます。

(15) 子どもの体験活動・学習の充実

集団生活の中で体験活動を通して、生きる力、忍耐力、自立心、協調性などを養い、青少年の心の豊かさやたくましさを育むため、フロンティア・アドベンチャー事業や地域間交流事業等の体験活動・体験学習の充実を図ります。

(16) 国指定史跡「鹿島神宮境内附郡家跡」(神野向遺跡)ガイダンス施設整備の検討

鹿嶋市の有する貴重な史跡である「鹿島神宮境内附郡家跡」のガイダンス施設整備が検討課題となっており、市政企画部で検討中の歴史資料館を含む複合型施設と「鹿島神宮境内附郡家跡」のガイダンス施設との関係性を整理し、整備の方向性を定めます。

(17) 市制施行20周年記念事業の実施

鹿嶋市市制施行20周年記念事業として、市民第九交響曲コンサート、第25回フロンティア・アドベンチャー事業、少年の主張茨城県大会（共催）を開催します。

また、鹿嶋勤労文化会館の自主文化事業として、芸術等鑑賞会および文化・スポーツに関する事業等12事業を開催します。

スポーツ関連事業としても、市内外からの参加者も多いサッカーと武道の大会を市制施行20周年記念事業として開催します。

(18) スポーツの振興

鹿嶋市では、第2次鹿嶋市スポーツ推進計画に基づき、成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上を目標にスポーツの振興を図っています。

本年度もこの目標を達成するため、スポーツを行う環境づくりとしてスポーツ推進委員による健康スポーツの推進、スポーツ指導者の育成等を行っていきます。

また、障がい者スポーツについては、昨年から障がい者スポーツの指導者を養成するプログラムをスポーツ指導者養成講座の中に盛り込み、障がい者スポーツの推進を図ってきました。本年も指導者の養成講座はもとより障がい者が参加できるスポーツ教室等を行っていきます。

平成31年の茨城国体では、成年男子・少年男子サッカー競技の会場となり、40試合が行われる予定です。開催に当たっては、7競技場が必要となり、既存施設の改修整備に向けて、国、県、関係機関と協議を進めていきます。

また、その翌年に東京五輪の開催となり、スポーツに対する関心の高まりと環境が好転する中、これを契機として鹿嶋市のスポーツコンベンションによる「観る、体験する、交流する」仕組みづくりを進めていきます。

(19) 図書館基本計画の策定（学校を含む）

中央図書館が開館して今年の10月で30周年を迎えます。また、小学校の図書館整備完了と中学校図書館整備も3校が完了し、図書館を有効に活用した教育活動が行われています。

こうした環境を踏まえて、公共図書館と学校図書館との連携のあり方を明確にした図書館基本計画を策定します。

(20) 公民館活動（まちづくりセンター）と運営体制の充実

学校教育とより連携した事業展開のもと、児童・生徒の健全育成を図るとともに互助、共助による支え合う地域づくりを進めます。

また、人と人、人と地域、地域と行政をつなぐコーディネーターとして、地区公民館に行政経験豊かな職員を、地域活動支援員として配置し、これまで展開してきた市民主体のまちづくり活動の一層の充実とともに、地域におけるさまざまな課題について解決を図るための取組を行います。

<参考資料>

1 鹿嶋市教育委員会委員名簿（平成 27 年 10 月 1 日現在）

教育長	川村 等
教育長職務代理者	小澤 和夫
委員	伏見 文
委員	矢幡 久美子
委員	信樂 愼
委員	岡見 文彦

2 鹿嶋市教育委員会行政組織

【教育委員会事務局】

教育総務課 鹿嶋っ子育成課 教育指導課 社会教育課 スポーツ推進課

【教育機関】

【小学校（12校）】

波野小学校 豊郷小学校
豊津小学校 鹿島小学校
高松小学校 平井小学校
三笠小学校 鉢形小学校
大同東小学校 大同西小学校
中野東小学校 中野西小学校

【社会教育関係機関】

青少年センター
平井コミュニティセンター

【図書館（2館）】

中央図書館 大野分館

【教育センター】

【中学校（5校）】

鹿島中学校 高松中学校
鹿野中学校 平井中学校
大野中学校

【幼稚園（4園）】

三笠幼稚園
高松幼稚園
波野幼稚園
はまなす幼稚園

【学校給食センター】

【公民館】

中央公民館 鹿島公民館 高松公民館
平井公民館 豊津公民館 豊郷公民館
波野公民館 鉢形公民館 三笠公民館
大野公民館 はまなす公民館

3 鹿嶋市の教育行政の経緯

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育やスポーツ振興などの生涯学習部門を補助執行するため、市長部局に市民協働部を新設 ・鹿島小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度を初年度とした10年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画を策定 ・三笠小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる ・まちづくり市民センター及び地区まちづくりセンターを設置 ・友好都市である中国塩城市、姉妹都市である韓国西歸浦市と中学生の派遣交流を開始
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> ・読書する機会をつくるとともに関心を高めるために、鹿嶋市読書感想文・感想画コンクールを実施
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法一部改正 ・全市的な英語活動を推進するため、レシピ方式による英語活動のモデル校として波野・豊津・中野東小学校を指定し、同方式を導入 ・中学生海外派遣交流事業では、中国及び韓国に、オーストラリア（カラウンドラ市）を加えた3カ国との交流を実施 ・第18回 全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006 in 鹿嶋」を開催 ・生涯学習塾「かしま灘楽習塾」が開講 ・学力向上に向けた夏季休業日の3日間短縮開始
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教育行政の充実を図るために、教育委員会事務局部長に民間人を採用 ・教職員の資質向上と市民の教育に関する関心を高めるために、鹿嶋師範塾を設立し、各種講座を開設 ・小学校での英語教育の充実を図るため、鹿嶋英語教育特区の認定を受ける。併せて、レシピ方式による英語活動を鹿島・三笠小学校以外の小学校に導入 ・中学校英語教諭の海外派遣研修を実施 ・学校図書館の充実を図るために、専任の学校図書館司書を波野小学校に配置 ・幼稚園6園、大野中学校を除く小中学校16校に給食を供給する新学校給食センターが稼働 ・学校教育課を鹿嶋っ子育成課へ名称変更

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> • 三笠小学校の余裕教室を活用した三笠まちづくりセンター（公民館）開館 • 放課後子どもプランスタート
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> • 社会教育法，図書館法一部改正 • 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正 • 個別指導の充実を図るために，小学校第1学年での少人数学級編制の実施 • 専任の学校図書館司書を，三笠小学校及び大同西小学校を加えた3校に配置 • 小学校での英語教育の充実を図るため，レシピ方式による英語活動を全小学校に導入 • 中国四川省大地震の発生によって，学校施設耐震化計画を見直し，完了年度を3年早め，平成23年度に変更 • 豊津小学校耐震化工事完了 • 第23回 国民文化祭・いばらき2008「かしま・潮騒交流文化フェスティバル」を開催 • 公民館年間延べ利用者が30万人を超える
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> • 少人数学級編制を小学校第2学年まで拡大 • 専任の学校図書館司書を，高松小学校を加えた4校に配置 • 教育基本計画を見直し，平成21年度からの5年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画（後期）を策定 • 小学校での英語活動の充実を受け，中学校での英語科教育の研究を行うため，鹿野中学校をモデル校として指定し，中学校でのコミュニケーション英語のカリキュラムの検討を実施 • 市独自に小学校専科担当非常勤講師を2名配置
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> • 前年度の鹿野中学校での研究を踏まえ，中学校全校でコミュニケーション英語を取り入れた授業の展開 • 鹿島・高松・平井・中野東小学校，鹿島・鹿野中学校の6校耐震化工事完了 • 平成23年3月11日東日本大震災 • 専任の学校図書館司書を，中野東小学校及び平井小学校を加えた6校に配置

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> • 三笠小学校，大同東小学校，大同西小学校，中野西小学校，高松中学校の5校耐震化工事完了 • 東日本大震災により第二幼稚園園舎が被災したため，第五幼稚園で合同保育，高松小学校敷地内に第二幼稚園舎を新築復旧 • 大野ふれあいセンター開館 • 小一プロブレム対策のスタートカリキュラム完成・スタート • 専任の学校図書館司書を，中野西小学校及び鹿島小学校を加えた8校に配置
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> • 小一プロブレム対策のスタートカリキュラム改訂版作成 • 学校内研修体制の確立と指導主事による研修支援 • 小中英語連携によるコミュニケーション英語カリキュラム作成による各校完全実施 • 小学校「国算理鹿嶋市独自学力テスト」作成・実施 • 大野中学校校庭拡張工事実施 • 小学校の学力は，平成23年度から県・国とも全国平均を越えているが学校間格差は出始めている • 鹿嶋市子ども議会開催（小学生対象） • まちづくり市民センターと大野ふれあいセンターに太陽光発電設備設置 • 学校防災推進委員会の設置，各学校で防災訓練等の取組み開始（筑波大の協力） • 専任の学校図書館司書を，豊津小学校及び豊郷小学校，大同東小学校，鉢形小学校を加えた12校全てに配置
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> • 地域における幼・小・中連携行事の推進 • 青森県五所川原市との小学5年生交流（派遣） • 中学生9泊11日のカナダ英語研修（ホームステイ） • 京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクトが鹿島小・大野中で開始 • 小学校にタブレットの導入（6校） • いじめ問題等対策委員会規則制定 • 英語習熟度テストの導入 • 児童生徒交友関係テスト • 幼・小・中学校に扇風機設置 • 小・中学校のトイレ洋式化 • 専任の図書館司書を中学校図書館として始めて高松中学校に配置

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> • 鹿嶋市いじめ基本方針の策定 • 平成18年度から始めた夏季休業日の3日間短縮を従来どおりに戻す。 • 通学区域再編に向けた検討準備委員会の開催 • 京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクト継続 • 児童生徒交友関係テスト（ハイパーQUテスト）の実施 • 鹿嶋市子ども議会開催（中学生） • 中学校図書館整備と図書館司書配置（平井中・鹿野中） • 青森県五所川原市との小学5年生交流（受入） • 中学生9泊11日のカナダ英語研修とホームステイ • 小学校にタブレットの導入（6校）※全小学校導入完了 • 学校給食費の改定と口座振替開始